※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１３

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「新編　現代の国語」　（大修館書店）						
副教材等	「常用漢字ダブルクリア　四訂版」（尚文出版） 「新訂版　最新国語便覧」（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業で課せられた作文や発表の課題に対して、自ら考え、周囲と協働しながら考えを整理する習慣をつけてください。
・様々な文章を通じて「読む能力」を向上させ、周囲との協働においては「話す・聞く能力」を磨いてください。また授業を通じて考えたことや感じたことを伝えるための「書く能力」を身につけてください。
・学習目標をたて、定期考査や小テストに計画的に取り組んでください。また、提出課題は期限を守り、評価基準を理解して取り組んでください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その性質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活の中での他者との関わりにおける伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりしようとしている。	言葉を通して他者や社会に関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。また言語感覚を磨き、言語活動で効果的に活かそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	ことばに対する意識を高め、ことばや文字が伝わる工夫をする ［教材］ 「ことばの使い分け」 「「変わる」ことを楽しもう」	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、語句や語彙の特色、用法及び表記のしかたなどを理解している。また、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[書]：「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠や説明の示し方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫できる。 c：文章を読んで筆者の主張を読み取ることに意欲的に取り組み、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。また、「話す」「聞く」「書く」「読む」それぞれの活動に対して意欲をもち、正しい表記で係り受けに気をつけながら書こうとしている。	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート ・学習計画シート
	コミュニケーションについての考えを深め、文章や話が伝わる工夫をする ［教材］ 「コミュンケーションは技術だ」 「正しく書こう」 「文を整え、文をつなぐ」 「伝わるように話そう」	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、語句や語彙の特色、用法及び表記のしかたなどを理解している。また、文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。 b[書]：「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫できる。 c：文章を読んで筆者の主張を読み取ることに意欲的に取り組み、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。また、表記に注意を払い、文をわかりやすく整えたり、文を適切につないだりすることに興味をもち、積極的に学習に取り組もうとしている。	・定期考査	・ワークシート	・ワークシート ・学習計画シート
	意見文の基本的な書き方を学び、作品の問題提起に対する意見を述べる ［教材］ 「人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか」 「意見文の基礎を学ぼう」	a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。また、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[書]：「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫できる。 c：説明的な文章を読むこと、また意見文を書くことに興味をもち、理由を明確に示しながら意見文を書こうとしている。	・定期考査	・ワークシート	・ワークシート ・学習計画シート

※令和４年度以降入学生用

	作品の論理展開に倣って、対比を使って論じる ［教材］ 「水の東西」	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b［読］：「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握できる。 c：論理的な文章を読み取ることに関心をもち、論理展開をとらえようとしている。	・定期考査	・ワークシート	・ワークシート ・学習計画シート
二学期	話すときは展開を工夫し、聞くときは必要な情報を正確に聞く ［教材］ 「ショートスピーチをしよう」 「聞き取りのレッスン」	a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。また、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いを使っている。 b［話/聞］：「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現のしかたを評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりできる。 c：声の大きさや話す速さを意識し、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。また、「聞くこと」に興味をもち、正確に聞いたり必要な情報を聞き取ったりしようとしている。	・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート ・学習計画シート
	伝えたいことを明確にし、効果的な紹介文を書く ［教材］ 「読書の広場」 「本の POP を作ろう」	a：実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b［書］：「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にできる。 c：さまざまな分野の本に興味をもち、積極的に読書に取り組もうとしている。また、POPの表現の工夫を知り、効果的な紹介文を書こうとしている。	・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート ・学習計画シート

※令和４年度以降入学生用

	配慮した言葉遣いや表現を知り、目的に沿った話し合いの進め方を考える ［教材］ 「対話のレッスン」 「テーマを決めて話し合おう」 「ミニ討論会をしよう」	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。また、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いを使っている。 b[話/聞]：「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫できる。 c：対話や話し合いに興味をもち、よりよい話し合いになるように意識しながら、積極的に取り組みに参加している。また、討論会に積極的に参加し、自分の主張を論理的に述べようとしている。	・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート ・学習計画シート
	情報を吟味しながら読み、作品の主題について考える ［教材］ 「情報の力関係」 「世界は私にほほえんでいる」 「どこもかしこもプラスチック！」	a：情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 c：情報を吟味しながら読むことに興味をもち、文章や図版から必要な情報を読み取ろうとしている。	・定期考査	・ワークシート	・ワークシート ・学習計画シート
三学期	対象者を明確にし、見やすくわかりやすい企画書をまとめる ［教材］ 「魅力的な企画書を書こう」	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、語句や語彙の特色、用法及び表記のしかたなどを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫できる。 c：企画書を書くことに興味をもち、対象者を説得することができる企画書を書こうとしている。	・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート ・学習計画シート
	聞き手を意識し、工夫された構成の発表をする ［教材］ 「プレゼンテーションをしよう」	a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。 b[話/聞]：「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫できる。 c：プレゼンテーションをすることに興味をもち、構成や発表のしかたを工夫しようとしている。	・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート ・学習計画シート

※令和４年度以降入学生用

	作品の問題提起を読み取り、自分の考えを広げて意見を述べる、 ［教材］ 「何のために「働く」のか」	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 c：筆者の主張を読み取ることに積極的に取り組み、それに対する自分の主張を論理的に述べようとしている。	・定期考査	・ワークシート	・ワークシート ・学習計画シート
	作品の主題を読み取り、自分の考えを深める ［教材］ 「商品と贈り物の違い」 「自分の考えをつくるために」	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、引用や要約などをしながら論述したり批評したりする活動を通して、自分の考えを深めることができる。 c：筆者の主張を読み取ることに積極的に取り組み、それに対する自分の考えを深めようとしている。	・定期考査	・ワークシート	・ワークシート ・学習計画シート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　３０　）時間

・書くこと　…　（　４５　）時間

・読むこと　…　（　３０　）時間